

来年度の政府経済見通しの実現に向けて 参考資料

2020年12月18日

竹森 俊平
中西 宏明
新浪 剛史
柳川 範之

世界における日本の立ち位置(デジタル化)

図表1 IMD世界デジタル競争ランキング(2020年)
～日本の順位は63か国中27位～

順位	国・地域
1位	米国
2位	シンガポール
3位	デンマーク
4位	スウェーデン
5位	香港
12位	カナダ
13位	英国
16位	中国
18位	ドイツ
24位	フランス
27位	日本
42位	イタリア

図表2 日本の順位の変遷
～過去5年間で大きな変化はなし～

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
全体	23位	27位	22位	23位	27位
知識	23位	29位	18位	25位	22位
技術	19位	23位	23位	24位	26位
将来への準備度合	23位	25位	25位	24位	26位

(備考)IMD「The IMD World Digital Competitiveness Ranking 2020」により作成。

知識

主な強み

- ・高等教育の生徒当たり教員数(1位)

主な弱み

- ・部長クラスの国際経験(63位)
- ・デジタル・技術の技能(62位)

技術

主な強み

- ・モバイルブロードバンド利用者数(1位)
- ・ワイヤレスブロードバンド浸透率(2位)

主な弱み

- ・移民法制(56位)

将来への準備度合

主な強み

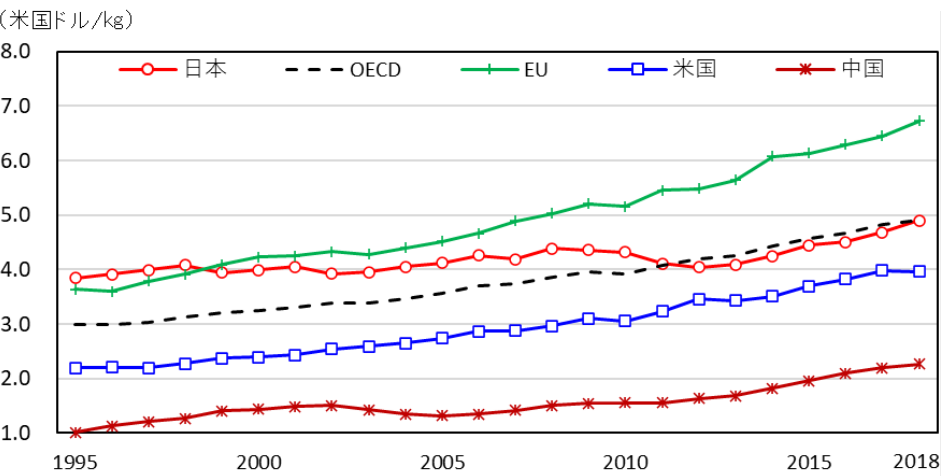
- ・ソフトウェア著作権保護(2位)
- ・ロボットの世界シェア(2位)

主な弱み

- ・企業の変化迅速性(63位)
- ・ビッグデータ活用(63位)

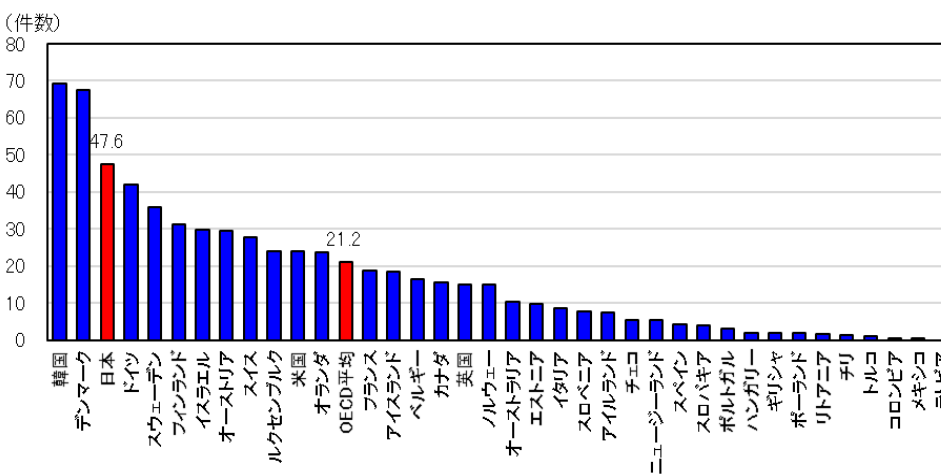
世界における日本の立ち位置(グリーン化)

図表1 炭素生産性(CO₂排出量当たりGDP)の国際比較
～日本は1990年代の世界最高水準からOECD平均並みへ～



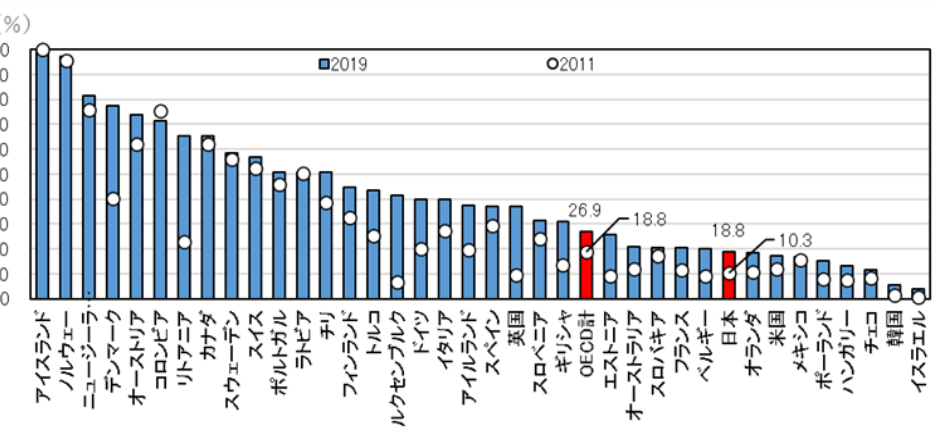
(備考) OECD グリーン成長指標により作成。米国ドル換算のGDPは2015年を基準年とする実質値。経済財政諮問会議(2020年11月9日)有識者議員提出資料より再掲。

図表3 各国の環境関連特許数(人口100万人当たり、2016年)
～日本の技術力を投資・生産性と国際貢献に結び付けることが必要～



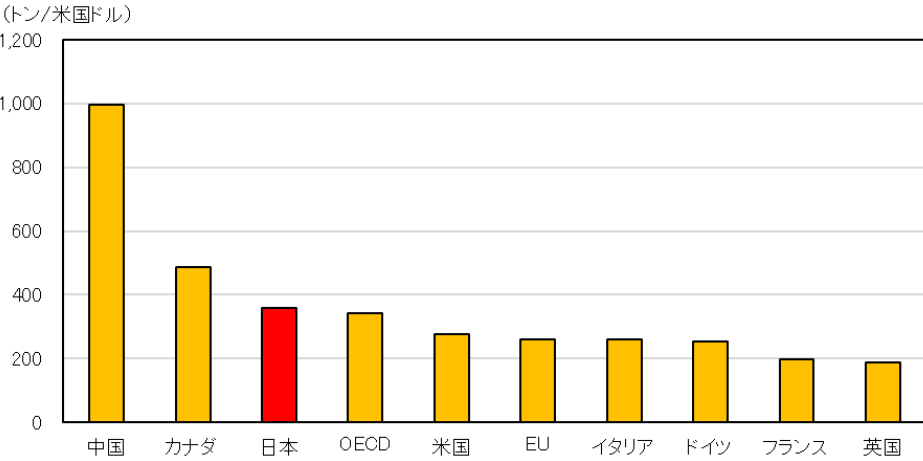
(備考) OECD グリーン成長指標により作成。経済財政諮問会議(2020年11月9日)有識者議員提出資料より再掲。

図表2 OECDにおける再生可能エネルギーの電源構成比率
～日本の利用率は上昇しているが、更なる拡大の余地は大きい～



(備考) BP Statistical Review of World Energyにより作成。再生可能エネルギー発電は太陽光、風力、地熱、バイオマス、水力発電。経済財政諮問会議(2020年11月9日)有識者議員提出資料より再掲。

図表4 各国の総輸出に体化されたCO₂排出量(2015年)
～グローバル・バリュー・チェーンを通じた削減貢献も各国の課題に～



(備考) OECD 貿易に体化されたCO₂データベースにより作成。「総輸出に体化されたCO₂」は、それぞれの国から輸出された財・サービスの生産・輸送過程で発生したCO₂の合計。経済財政諮問会議(2020年11月9日)有識者議員提出資料より再掲。